

2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年4月17日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	沖塩 有希子
研究課題	カンボジアの教育事情				
研究キーワード	カンボジア・教育事情・ 新型コロナウイルスパン デミック状況下・バイヨ ン高等学校 / 附属中学校	当年度計画に対す る達成度		2.順調に研究が進展しており、期待どおり の成果が達成できた	
関連する SDGs項目	4. 質の高い教育をみん なに	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

1. 研究成果の概要

新型コロナウイルスパンデミック状況下のカンボジアの教育事情をめぐって、以前の拙稿：「カンボジアにおける教育支援・地域人材育成に関する一考察 — 『アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構：Joint Support Team for Angkor Community Development：JST』の取り組みを事例として — 」『千葉商大紀要』第56巻第3号、2019年、pp.49-70 においても検討の対象としたバイヨン中学校、また、2019年に新設されたバイヨン高等学校（バイヨン高等学校 / 附属中学校）の生徒のパンデミックを契機とする変容について、生活面・学習面に焦点化した調査（質問紙・聞き取り）と検討を行い、これらから得られた知見を下記の拙論にまとめた。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文】

「新型コロナウイルスパンデミックを契機とするカンボジアの子どもの生活と学びの変容 — バイヨン高等学校 / 附属中学校 の生徒を事例として — 」『ねざす』第71号、pp.36-42、2023年5月刊行予定。

3. 主な経費

上述の研究を行う上で必要な資料類の入手、および調査（質問紙・聞き取り）を行う上で発生した費用を主として経費を使わせていただいた。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特になし

（本文は2ページ以内にまとめること）